

## 伊都・那賀地方コミュニティ座談会 ～令和2年度きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会～

1. 日時 令和2年7月16日（木） 14時00分～16時00分
2. 場所 伊都総合庁舎1階入札室
3. 参加者 市町コミュニティ・スクール担当者  
（橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町、九度山町、高野町、湯浅町）  
市町社会教育及び地域学校協働活動担当者  
（和歌山市、橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町、九度山町、高野町）  
県立学校職員  
学校運営協議会委員 合計18名

### 4. ねらいと成果・課題

#### （1）学校教育と社会教育の行政担当者等の情報共有、資質向上、ネットワーク化を図る

伊都・那賀地方では、学校教育行政の事務担当者会議、社会教育行政の事務担当者会議をそれぞれ行っていたが、学校教育行政と社会教育行政が交わる機会はなかった。

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する」という国から出た方向性のもと、「学校教育行政と社会教育行政が情報共有できる場が欲しい」、「近隣市町の活動を知りたい」という意見が市町からあがり、座談会を企画した。

当初は伊都・那賀地方行政限定の座談会であったが、参加者を県内全域に募ったところ、色々な立場の方の参加があった。市町を越え、立場を越えての意見ということで、会話も弾み、充実した2時間の座談会となった。同じような課題や悩み、参考となる取組事例などを共有し、顔見知りとなることで、地方を越えたネットワーク化を図ることができた。

#### （2）他地方の現状と課題等を把握することにより、新たな視点を持ち帰る

和歌山市、海南市、湯浅町、県立学校からの参加もあり、熟議を重ねる中で、きのくに共育コミュニティの有無、市町の大きさ等による課題を把握するとともに、一つの学校運営協議会、一つの市町だけでは解決できなかったことも、様々な角度からの切り口で新たな視点を持ち帰ることができた。

### 5. テーマ 「伊都・那賀の現状の共有と市町村担当者のネットワークづくり」

#### ◆座談会

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて」  
～市町村の課題に応じたグループ協議～

助言者 高野山大学 客員教授 今西 幸蔵 氏  
コーディネーター 紀北教育事務所 木下 豪人

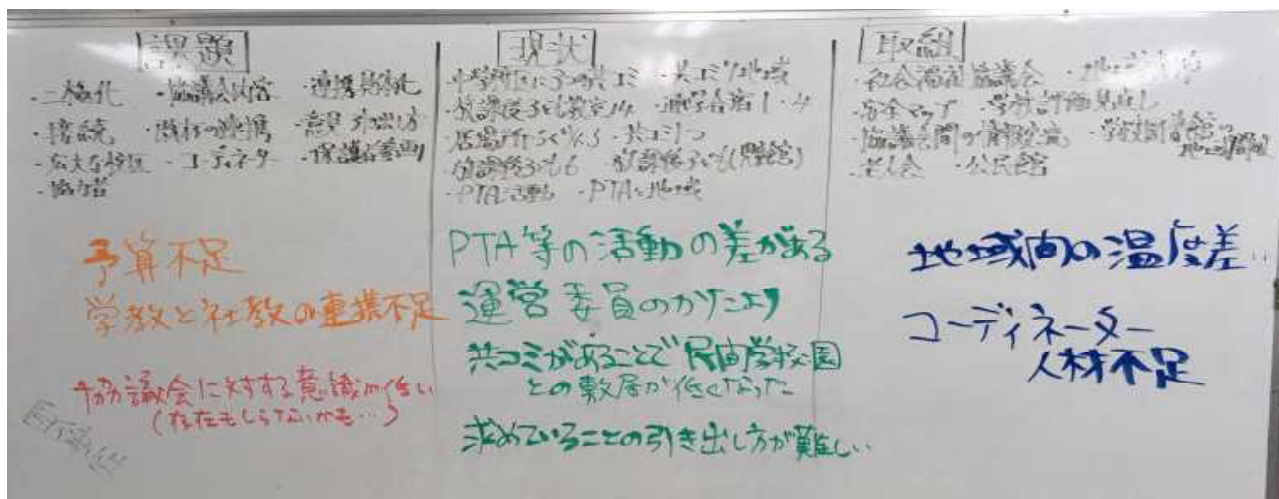
- 「令和元年度の伊都・那賀地方各市町取組状況と課題」から見えてきた3つのテーマ
  - ①広報の仕方
  - ②協議会の進行、内容及び既存団体との接続
  - ③関係者の理解促進（学校運営協議会委員、教職員、行政職員、地域の方々等）について、各自で1つのテーマを選択する。

○選択したテーマについて、「今日は一番話したい内容」をA4用紙に大きく記入し、参加者で見せ合いながら、グループを作る。

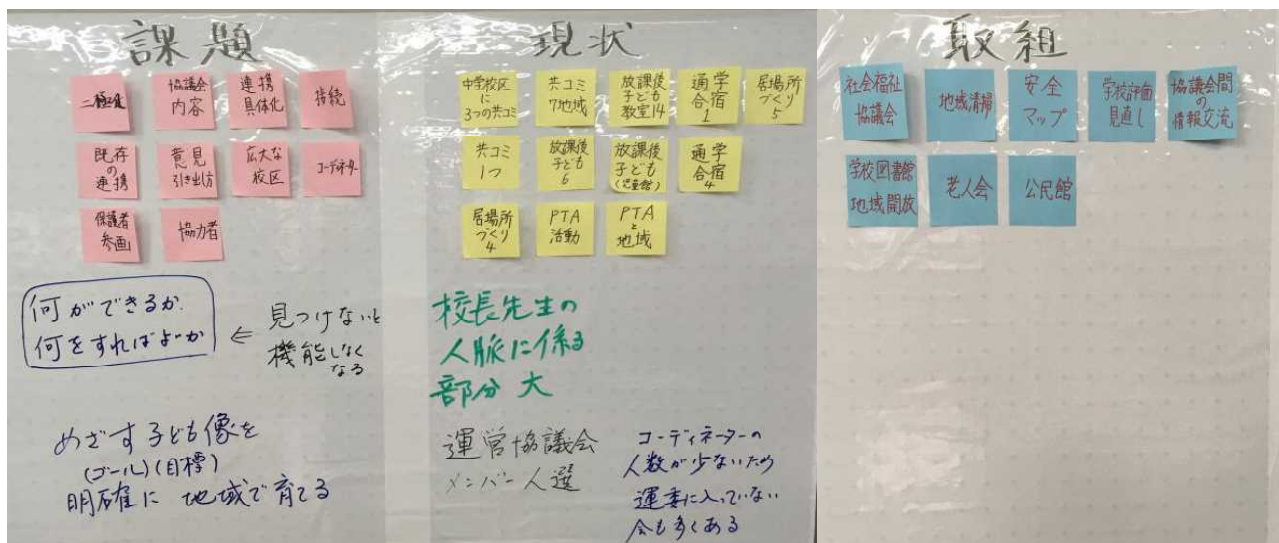
○グループ①……希望者なし



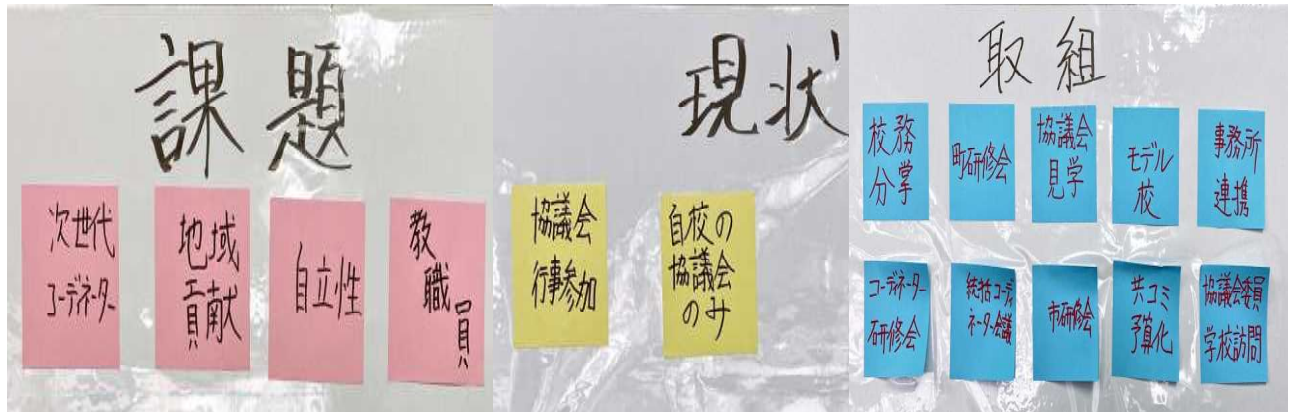
グループ② I …和歌山市、橋本市、かつらぎ町、九度山町



グループ② II …海南市、橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町、高野町



グループ③……橋本市、紀の川市、岩出市、高野町、湯浅町、県立学校



○各グループの発表

グループ② I …… 学校運営協議会自体の意識が低いことをどうするか。

- ・ P T A 活動に差がある。会員、活動が縮小傾向にある。
- ・ 同じ人が多くの役（協議会委員など）を持っている。
- ・ 学校間の連携は取れてきている。
- ・ 地域間の温度差あり。（コーディネーターの熱い思い）
- ・ コーディネーターの人材不足。

グループ② II …… 学校運営協議会は年間3回程度の開催。

- ・ 現状と課題を見たとき、校長の人脈に左右される。
- ・ 地域の団体として自分たちに何ができるのか、学校運営協議会で出されたことを受けて行動に移す。受け身になる。自発的な動きも必要。

グループ③ …… 「企画運営」「関係者の理解促進」という2点について熟議。

- ・ 学校教育と社会教育の理解不足、意識の低さが課題。
- ・ 学校は学校で地域と連携、社会教育は社会教育で地域とつながりあり。  
→制度や活動の整理が必要。
- ・ 学校教育と社会教育で話し合う機会を持てたことがよかった。
- ・ 学校運営協議会に対する意識づけのために、生徒会を関わらせることも一つの手立て。



グループづくり



グループ熟議

## ○助言

### 【最終的ゴールイメージ】

地域が地域に責任を持って、事業設計をする必要性。  
地域主権という意識を持ち、学校経営を住民が行う。  
地域総ぐるみで子供を育てる。(学校運営協議会の原点)

### 【教育の総合化】

学校教育、社会教育の平行ではない。  
学校の自律性を担保する。(School autonomy)

### 【広報】

Public Relation (P R)、公的な関係づくり。学校・子供の教育、公の好ましい人間関係構築。  
紙媒体、ホームページ等色々な方法を活用しながら、情報提供することに意味がある。  
情報提供することで、P D C Aサイクルが回る。

### 【学校教育と社会教育の連携不足】

学校運営協議会をしっかりとしたものにするには、地域学校協働本部を立て直す必要。  
総合的に一緒に土俵に立って取り組む必要がある。  
コーディネーターには、P T A経験者を活用。P T Aとして社会参画した事実。

### 【協議会のあり方】

学校がどのような教育をするか大枠を考える場所。  
学校のブランドデザインを行い、目指す子供像を考える場。  
委員それぞれの役割分担の仕組みづくりを行う段階。  
地域住民への行政のP R。

## ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5第5項について

「グループ①広報の仕方」の希望者がなかったことも踏まえて、広報についての考え方を紹介。

「学校運営協議会は、前項に規定する基本的な方針に基づく対象学校の運営及び当該運営への必要な支援に関し、対象学校の所在する地域の住民、対象学校に在籍する生徒、児童又は幼児の保護者その他の関係者の理解を深めるとともに、対象学校とこれらの者との連携及び協力の推進に資するため、対象学校の運営及び当該運営への必要な支援に関する協議の結果に関する情報を積極的に提供しよう努めるものとする。」

## ○個別相談、名刺交換等

## 6. 参加者の声（アンケートより）

- ・各地域での悩みなどを聞くことができ、どの地域とも考えが共通していることが多く、参考になりました。学校教育と社会教育との連携不足。
- ・各市町の現状、課題を聞かせていただいて勉強になりました。
- ・他の市町の状況、意見、想いを聞いてよかった。地方により問題に温度差があった。
- ・情報交換はよかったが、最後の今西教授のお話が最も参考になり、もっとたくさん聞きたかった。今西教授の話聞く場をいただけないでしょうか。そのときは何としても参加します。ありがとうございました。
- ・地域の教育力を高めること。社会教育で学んでいることは、いつも本質は同じだと思った。メンバーや課題は変わっても、いかに参画する方を増やすか。協働・協同する機会ができるかが大切だと思った。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。学校と社会教育の連携不足。
  - ・・・・その通りです。
- ・立場を越えて、市町を越えて、情報交流ができてよかったです。情報提供（広報）が重要だと分かりました。
- ・学校と地域が目指す子供像を共有するというのが、コミュニティの本質なのかなと感じました。社会教育と学校教育の連携もシステムとして課題なのかなと思いました。様々な意見が聞いて勉強になりました。
- ・課題と現状等、見えなかった部分が見えてきた。自分に足りない部分（知識）も見え、座談会で学んだことを今後に生かしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。
- ・同じような考えや、悩みがあるように感じた。よい機会を与えてくれました。ありがとうございます。
- ・今後も学校教育関係者と社会教育関係者で顔を合わせ、地域連携について協議することができればよいと思いました。とても良い機会を設けていただきありがとうございました。
- ・こちらの地方は、ずいぶん進んでいるなあと思いました。コミュニティ・スクール2年、3年でこんなになるのかなあ。たいへん勉強になりました。ありがとうございました。
- ・各市町の情報を知ることができ、たいへん役に立ちました。今後も各市町との交流の場があればいいと思います。
- ・他市町の課題と取組について聞かせていただき、また学校運営協議会の意義と進め方、実働（の方法）について協議し、再確認させていただきました。今西先生のお話では、共有のポイントを学ばせていただきました。本市の推進に活かしていきたいと思います。
- ・社会教育、学校教育の担当者が介して、課題を共有することができた。座談会での互いの情報交換もよいが、年度初めの4月に共育コミュニティとは何か、コミュニティ・スクールとは何かというそもそもの研修があればうれしいです。
- ・非常に有意義な会で参加できて良かったと思います。
- ・コミュニティ・スクール、共育コミュニティはパラレルではない。学校教育と社会教育の一体化が大切であることを今西先生からも聞け、良かった。コミュニティ・スクール、共育コミュニティとも一番の仕事が学校はどうあるべきか、地域の子供をどう育てるべきかであること。再度、肝に銘じて頑張りたいと思う。